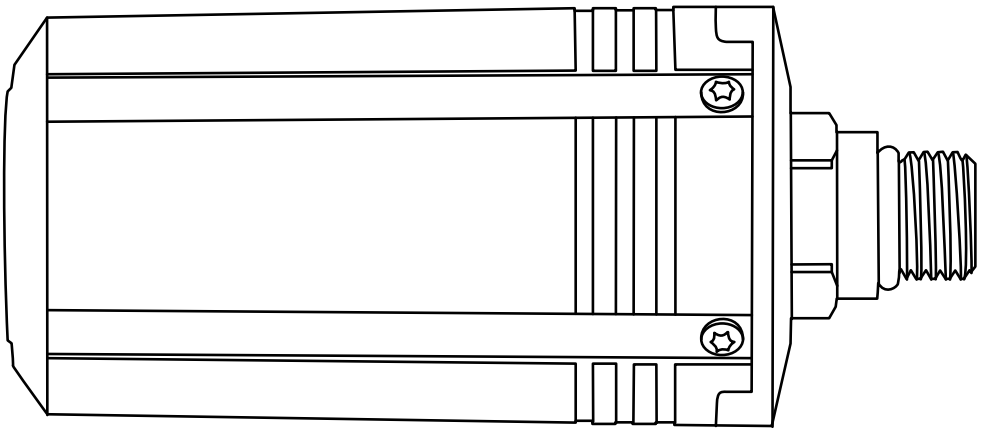
GARMIN®



DESCENT T1

操作マニュアル

© 2021 Garmin Ltd. or its subsidiaries

目次

はじめに 1
トランスミッターの取り付けとセットアップ 1
トランスミッターの取り付け位置 1
レギュレーターにトランスミッターを取り付ける 1
トランスミッターを延長高圧ホースに取り付ける 2
トランスミッターをペアリングする 3
トランスミッター設定.....3
ダイビングページに表示するペアリング済みトランスミッターを選択する 4
ガス消費量の計測基準を選択する.....4
ガス消費量の計測に使用するトランスミッターを設定する.....4
トランスミッターデータページを追加する 4
ダイビング 5
ダイビングに関する警告.....5
ペアリング済みの Descent ダイブコンピュータでダイビングを開始する 5
トランスミッターのデータページを表示する.....5
トランスミッターのアラート.....6
通信の途絶えたトランスミッターのアラートを作動する 6
デバイス情報 6
Descent T1 Transmitter(トランスミッター)のバッテリーを交換する 6
お取り扱い上の注意事項.....7
トランスミッターのクリーニング方法 7
仕様.....7
デバイスに関するその他の情報 7
トラブルシューティング 8
Descent ダイブコンピュータを使用してトランスミッターのソフトウェアを更新する 8
トランスミッターと Descent ダイブコンピュータが水中で接続できません.....8
送信出力設定を変更する.....8
トランスミッターのバッテリー消耗が早い 8
商標について 9

はじめに

⚠警告

本製品を安全にご使用いただくために、同梱の*クイックスタートマニュアル　安全および製品に関する警告と注意事項*に記載される内容を必ずお読みください。

トランスミッターの取り付けとセットアップ

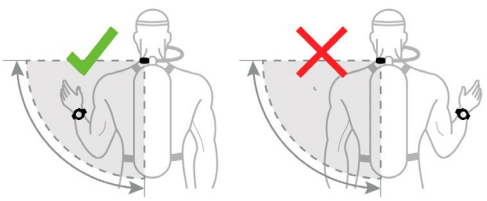
⚠注意

最適な設定で最大限の性能を発揮するためには、事前にダイビングショップなどでトランスミッターの取り付けとセットアップを完了することをおすすめします。ダイビングに使用する前に、水面上と水面下の両方でトランスミッターが正しく取り付けられているか十分にテストしてください。

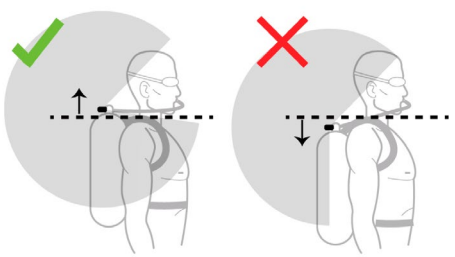
トランスミッターの取り付け位置

トランスミッターは、対応するダイブコンピュータとワイヤレスで通信します。陸上では ANT テクノロジーを使用します。水中ではソナー信号を使用します。特に水中では、身体やドライスーツ、ダイビング器材などが通信の妨げになることがあります。最適な受信のため、使用しているすべてのトランスミッターとダイブコンピュータの間に障害物がないようにしてください。身体や器材で通信を妨げないために、次のことをご確認ください。

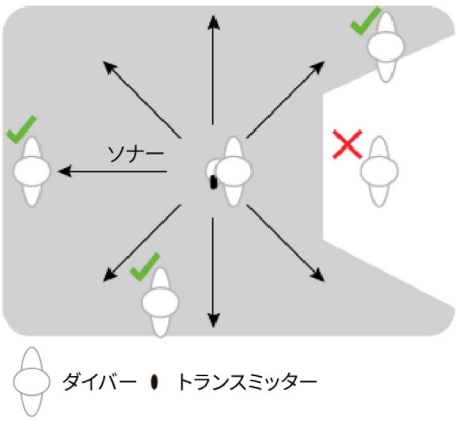
- トランスミッターは、身体から 7cm 以上離して取り付けてください。
- タンクにトランスミッターを取り付ける際は、ダイブコンピュータを装着した手首と同じ側に取り付けてください。例えば、ダイブコンピュータを左手首に装着した場合は、トランスミッターをレギュレーターの左側に取り付ける必要があります。



- 最適な受信のために、背中の高い位置にタンクを装着する必要があります。これにより、トランスミッターは肩越しに良好な通信状態を保つことができます。



- もしタンクを下向きに装着し、レギュレーターの位置も下になる場合は、高圧ホースを使用してトランスミッターの位置を移動し、肩越しに通信できる状態にしてください。
- トランスミッターから信号を受信できない場合、受信できるまで腕を動かしてみてください。
- 別のダイバーからの信号が受信できない場合、受信できる位置に身体を移動したり、姿勢を変えてみてください。ダイブコンピュータと、他のダイバーの間にユーザー自身の身体があると、通信の妨げとなるおそれがあります。



レギュレーターにトランスミッターを取り付ける

⚠警告

レギュレーターにトランスミッターを取り付けて使用する場合は、必ず流量調節器も取り付けてください。トランスミッターを延長高圧ホースに取り付ける際には、必ず付属の Air Spool（エアスプール）を使用してください。（*2 ページ　トランスミッターを延長高圧ホースに取り付ける*）流量調節器またはエアスプールのどちらか一方でも取り付けずにトランスミッターを使用すると、死亡または重傷を負うおそれがあります。

レギュレーターにトランスミッターを取り付ける前に、トランスミッターの取り付け位置をお読みになり、ダイブコンピュータと良好な通信状態になる位置を選定してください。

トランスミッターを取り付けるには、5/8 インチ（16mm）のスパナが必要です。

トランスミッターは、レギュレーターのファーストステージの高圧ポートに接続します。

注意：他のポートに干渉してファーストステージの高圧ポートにトランスミッターを直接取り付けられない場合は、トランスミッターに付属のエアスプールを取り付け後、延長高圧ホースに取り付けてください。

参照　*2 ページ　トランスミッターを延長高圧ホースに取り付ける*

1. レギュレーターが、減圧してタンクから取り外してあることを確認します。
2. レギュレーターのファーストステージの高圧ポートからポートプラグを外します。

3 流量調節器がトランスミッターに取り付けられていることを確認します。

ヒント：流量調節器は、あらかじめトランスミッターに装着された状態で出荷されています。

4 高圧ポートにトランスミッターを回しながらしっかりと差し込みます。



⚠警告

トランスミッターが、ホースや他の器材と物理的に干渉しないことを確認してください。

5 5/8 インチ(16mm)のスパナを使用して、トランスミッターを締め付けて固定します。



注意

トランスミッターの破損や機能障害を防ぐため、過剰に締め付けないでください。ハウジングを使用してトランスミッターを締めたり緩めたりしないでください。タンクの移動、運搬、位置の調節をしたりするときに、レギュレーターやトランスミッターを掴まないでください。

トランスミッターを延長高圧ホースに取り付ける

⚠警告

レギュレーターにトランスミッターを取り付けて使用する場合は、必ず流量調節器も取り付けてください。(*1 ページ　レギュレーターにトランスミッターを取り付ける*)トランスミッターを延長高圧ホースに取り付ける際には、必ず付属のエアスプールを使用してください。流量調節器またはエアスプールのどちらか一方でも取り付けずにトランスミッターを使用すると、死亡または重傷を負うおそれがあります。

EN 250:2014 規格に従い、延長用高圧ホースにトランスミッターを取り付ける前に、トランスミッターの取り付け位置をお読みになり、ダイブコンピュータと最適な通信ができる位置を選んでください。

トランスミッターを取り付けるには、5/8 インチ(16mm)のスパナが 2 つと、小型マイナスドライバーまたはフラットペンチが必要です。

トランスミッターは、レギュレーターのファーストステージの高圧ポートに接続した延長高圧ホースに取り付けることができます。

1 ドライバーやペンチを使用して、トランスミッターの流量調節器①を取り外します。

ヒント：流量調節器は、あらかじめトランスミッターに装着された状態で出荷されています。



注意

トランスミッターの破損を防ぐために、流量調節器を取り外すときは注意してください。

2 エアスプール②の太い方の端をトランスミッターに差し込みます。

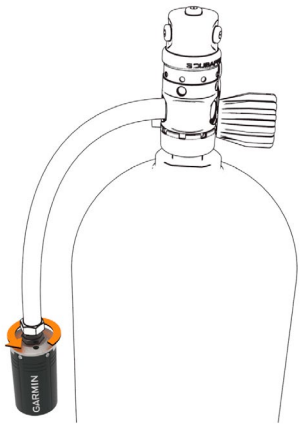


3 レギュレーターが減圧されていることを確認してから、タンクから取り外します。

4 レギュレーターのファーストステージの高圧ポートからポートプラグを外します。

5 延長高圧ホースをファーストステージの高圧ポートに取り付けます。

6 延長高圧ホースにトランスミッターを回しながらしっかりと差し込みます。



⚠警告

トランスミッターが、ホースや他の器材と物理的に干渉しないことを確認してください。

7 5/8 インチ(16mm)のスパナを 2 つ使用して、トランスミッターを締め付けて固定します。1 つをトランスミッターに、もう片方をホースの調整に使用します。



注意

トランスミッターの破損や機能障害を防ぐため、過剰に締め付けないでください。ハウジングを使用してトランスミッターを締めたり緩めたりしないでください。タンクの移動、運搬、位置の調節をしたりするときに、レギュレーターやトランスミッターを掴まないでください。

8 使用する前に、トランスミッターと延長用高圧ホースが確実に接続されていることを確認してください。

レギュレーターにトランスミッターを取り付ける前に、エアスプールを取り外し、流量調節器を再び取り付ける必要があります。

トランスミッターをペアリングする

トランスミッターをペアリングするには、加圧済みのタンクとレギュレーターを準備します。

トランスミッターは、対応する Descent ダイブコンピュータにタンク圧データを送信できます。対応するダイブコンピュータ製品については、当社ウェブサイト(*Garmin.co.jp*)のトランスミッターの製品ページをご参照ください。

トランスミッターを初めて使用するときには、ダイブコンピュータとペアリングする必要があります。トランスミッターは、初期状態で低電力モードになっています。低電力モードを解除してからペアリングを開始します。

1 トランスミッターを、レギュレーターのファーストステージに取り付けます。

参照 *1 ページ　レギュレーターにトランスミッターを取り付ける*

2 タンクのバルブを除々に開き、レギュレーターのファーストステージを加圧します。

トランスミッターが圧力を検知すると、低電力モードが解除されます。トランスミッターの低電力モードが解除されると音が鳴り、ペアリング可能な状態になります。

3 Descent ダイブコンピュータを操作します。

MENU キー長押し＞**[ダイブ設定]**＞**[エアーインテグレーション]**＞**[トランスミッター]**＞**[センサー追加]** の順に選択します。

接続可能なトランスミッターがリストに表示されます。

4 リストの中からからペアリングするトランスミッターを選択します。

ヒント：トランスミッター ID はハウジングに記載されています。

ペアリングが完了すると、ダイブコンピュータに **[接続]** と表示されます。トランスミッターはタンク圧データを送信して、ダイビングで使用可能な状態になります。初回のペアリング以降は、トランスミッターとダイブコンピュータがワイヤレス接続可能な範囲内で電源をオンにすると、自動的に接続されます。

グループでダイビングをする場合、1 台のダイブコンピュータに最大で 5 台のトランスミッターを接続することができます。

トランスミッター設定

ダイビングを行う前に、ペアリング済みのトランスミッターの設定を変更できます。

1 Descent ダイブコンピュータを操作します。

MENU キーを長押しします。

2 **[ダイブ設定]**＞**[エアーインテグレーション]**＞**[トランスミッター]** の順に選択します。

3 設定を変更するトランスミッターを選択します。

4 次のオプションを選択します。

- **[ステータス]**：トランスミッターとの接続を有効にし、現在の接続状態を表示します。
- **[確認]**：選択したペアリング済みのトランスミッターから、トーンを鳴らします。トランスミッターのハウジングに記載されているトランスミッター ID を確認しなくても、トランスミッターを識別することができます。
- **[単位]**：タンク圧力の単位を設定します。初期設定では、深度の単位設定がメートルの場合は bar、フィートの場合は psi に設定されています。
- **[最高充填圧力]**：タンクの最高充填圧力を設定します。この数値は圧力ゲージの上限を決定

し、psi 単位でタンクの毎分換気量(RMV)を計算するために使用されます。

- **[予備圧力]**：ダイブコンピュータに表示される予備圧力と緊急圧力アラートの閾値を設定します。
- **[体積]**：タンクの容量を設定します。サイズの異なる別のタンクにトランスミッターを接続する場合は、オプションから **[体積リセット]** を選択します。

注意：この数値は、水面空気消費率(SAC)と毎分換気量(RMV)を計測するために必要です。

参照 *4 ページ　ガス消費量の計測基準を選択する*

- **[SAC/RMV/ATR]**：水面空気消費率(SAC)、毎分換気量(RMV)、残圧時間(ATR)の推定値の計測に選択したトランスミッターを使用します。

参照 *4 ページ　ガス消費量の計測に使用するトランスミッターを設定する*

- **[送信出力設定]**：水中でペアリング済みのダイブコンピュータとの接続が切れる場合に、トランスミッターの送信出力を設定します。
- **[デバイス情報]**：トランスミッター ID、ソフトウェアバージョン、バッテリーステータスを表示します。
- **[名前編集]**：トランスミッターを簡単に識別するために、個別の名前を設定することができます。

ヒント：ダイブコンピュータとペアリング済みのスマートフォンで Garmin Connect Mobile アプリを開くと、スマートフォンから文字を遠隔入力することができます。

- **[削除]**：トランスミッターのペアリングを解除して、Descent ダイブコンピュータから削除します。

ダイビング用語

残圧時間(ATR)：

9m/ 分(30ft/ 分)で浮上するための残圧を除いて算出した現在の深度に留まれる時間。

水面空気消費率(圧力)：

1 気圧下相当で消費する空気の量(タンク圧を基に推定)。

水面空気消費率(体積)：

1 気圧下相当で消費する空気の量(エアの体積を基に推定)。

毎分換気量(RMV)：

周囲圧力での 1 分間あたりの空気消費量。

ダイビングページに表示するペアリング済みトランスミッターを選択する

ダイビングページには、ペアリング済みのトランスミッターを 2 台まで表示できます。ページに表示するトランスミッターを変更することができます。初期設定では、1 台目と 2 台目にペアリングしたトランスミッターが表示されています。

1. Descent ダイブコンピュータを操作します。

   MENU キーを長押しします。
2. **[ダイブ設定]**＞**[エアーインテグレーション]**＞**[表示設定]**の順に選択します。
3. **[項目 1]** または **[項目 2]** を選択します。
4. ダイビングページに表示するペアリング済みのトランスミッターを選択します。

ガス消費量の計測基準を選択する

1. Descent ダイブコンピュータを操作します。

   MENU キーを長押しします。
2. **[ダイブ設定]**＞**[エアーインテグレーション]**＞**[表示設定]**＞**[ガス消費量]**の順に選択します。
3. **[SAC(圧力)]/[RMV]/[SAC(体積)]** から、計測基準を選択します。

   注意：エアの体積を基にした水面空気消費率(SAC)または毎分換気量(RMV)の推定値を計測するには、トランスミッター設定の体積(タンク容量)を設定する必要があります。体積(タンク容量)が設定されていない場合、タンク圧を基にした水面空気消費率(PSAC)の推定値のみ計測することができます。

参照 *3 ページ　トランスミッター設定*

ガス消費量の計測に使用するトランスミッターを設定する

ガス消費量と残圧時間の推定値は、トランスミッターからのタンク圧力情報を使用して計測されます。初期設定では、1 台目にペアリングしたトランスミッターが使用されています。

1. Descent ダイブコンピュータを操作します。

   MENU キーを長押しします。
2. **[ダイブ設定]**＞**[エアーインテグレーション]**＞**[トランスミッター]**の順に選択します。
3. 計測に使用するトランスミッターを選択します。
4. 選択したトランスミッターを計測に使用するには、**START キー**で **[SAC/RMV/ATR]** のスイッチをオンにします。
5. 必要に応じて手順 2 ～ 4 を繰り返し、計測に使用するトランスミッターを設定します。

トランスミッターデータページを追加する

ダイビングモードごとのダイビングページに、トランスミッターデータページを追加することができます。

1. Descent ダイブコンピュータを操作します。

   MENU キーを長押しします。
2. **[アクティビティ＆アプリ]**を選択します。
3. トランスミッターデータページを追加するダイビングモードを選択します。
4. **[(ダイビングモード名)設定]** を選択します。
5. **[トレーニングページ]**＞**[追加]**＞**[トランスミッター]**の順に選択します。

ダイビング

Descent T1 Transmitter（トランスミッター）に対応するDescent ダイブコンピュータを使用して、ダイビングアクティビティを開始することができます。詳しくはDescent 操作マニュアルをご参照ください。

ダイビングに関する警告

⚠警告

このデバイスは有資格のダイバーのみが使用できます。

このデバイスが示す圧力情報だけを唯一の情報源として使用しないでください。このデバイスのバックアップとして、水深計、残圧計、タイマーや時計などの機器を常に使用してください。

デバイスの使用方法、表示内容、および制限事項について、必ず十分に理解してください。本マニュアルやデバイスに関して不明な点がある場合は、デバイスを着用してダイビングする前に、必ず不明な点を解消してください。ご自身の安全は、自分自身が担っていることを常に念頭に置いてください。

ダイブコンピュータが算出する水面空気消費率（SAC）と残圧時間（ATR）は推定値であり、これらの値を唯一の情報源として依拠すべきではありません。

ダイビングを開始する前に、デバイスの動作や設定、ディスプレイの機能、バッテリーレベル、タンク圧力、ホースの空気漏れなどの安全確認を必ず実施してください。

タンク圧力やバッテリーの警告がダイブコンピュータに表示された場合は、ダイビングを直ちに中止し、安全のため水面に戻ってください。警告を無視した場合、死亡または重傷を負うおそれがあります。

安全上の理由から、単独でのダイビングは絶対にしないでください。指定されたバディと一緒にダイビングしてください。減圧症の症状が遅れて現れたり、陸上での活動によって減圧症が誘発されることがあるため、ダイビング後も、しばらくの間は他の人と一緒に行動するようにしてください。

このデバイスは潜水士やプロダイバーのダイビングを目的としたものではありません。レクリエーションのみを目的にしたものです。潜水士やプロダイバーは、減圧症のリスクが増大する水深や状況でダイビングする可能性があります。

トランスミッターは酸素クリーニング済みの製品ではありません。40%以上の酸素濃度ガスとともに使用しないでください。

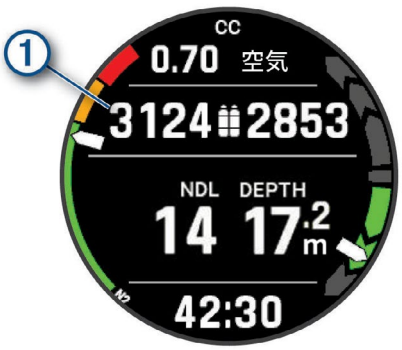
ペアリング済みの Descent ダイブコンピュータでダイビングを開始する

1. ウォッチフェイスページで、**START キー**を長押しします。
2. ダイビングモードを選択します。
3. ダイビングページが表示されるまで **START キー**を押します。

   ダイビングページには、最大で 2 台のペアリング済みトランスミッター①が表示されます。

   参照　*4 ページ　ダイビングページに表示するペアリング済みトランスミッターを選択する*

   注意：ダイビングを開始する前に、このページでダイブコンピュータにペアリング済みのトランスミッターが接続されていることを確認できます。



4. ダイビングを開始します。

   水深 1.2 メートル（4 フィート）に到達すると、タイマーが自動的に開始されます。

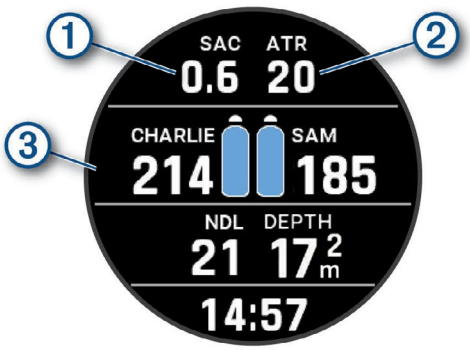
5. **DOWN キー**を押して、ページをスクロールします。

水面に上がると、ダイブコンピュータは自動的に記録を終了して、1 分後にデータを保存します。（初期設定）

トランスミッターを低電力モードにするには、レギュレーターを減圧する必要があります。

トランスミッターのデータページを表示する

1. ダイビング中に、ダイブコンピュータの**DOWN キー**を押すと、トランスミッターのデータページを表示できます。



①	選択したトランスミッターの推定水面空気消費率（SAC） **注：**ガス消費量の計測に使用するトランスミッターは、変更することができます。 参照　*4 ページ　ガス消費量の計測に使用するトランスミッターを設定する*
②	選択したトランスミッターの推定残圧時間（ATR）

③	第 1・第 2 トランスミッターと各タンクの圧力値 **注**：表示させるトランスミッターは、変更することができます。 **参照** *4 ページ　ダイビングページに表示するペアリング済みトランスミッターを選択する*

2 トランスミッターのデータページで **START キー**を押すと、接続中の他のトランスミッターの情報を表示できます。



トランスミッターのアラート

アラートメッセージ	原因	ダイブコンピュータの動作
なし	ペアリング済みのダイブコンピュータと、トランスミッターの通信が 30 秒間途絶えています。	タンクの圧力値が黄色に点滅します。
%1 予備圧未満です	タンク圧力が予備圧力のレベルを下回っています。「%1」はトランスミッター名に置き換わります。	タンクの圧力値が黄色に点灯します。 ペアリング済みのダイブコンピュータが振動し、警告音が鳴ります。
%1 圧力低下	タンク圧力が緊急圧力レベルを下回っています。「%1」はトランスミッター名に置き換わります。	タンクの圧力値が赤く点滅します。 ペアリング済みのダイブコンピュータが振動し、警告音が鳴ります。
%1 バッテリー残量不足	トランスミッターのバッテリー残量が残り 20 時間以下です。「%1」はトランスミッター名に置き換わります。	バッテリー残量が極端に低下すると、トランスミッター名に「電池残量低下」の表示が出て点滅します。 ペアリング済みのダイブコンピュータが振動し、警告音が鳴ります。
NO COMMS	ペアリング済みのダイブコンピュータと、トランスミッターの通信が 60 秒間途絶えています。	トランスミッター名に「NO COMMS」の表示が出て点滅します。タンク圧力値にはダッシュ（破線）が表示され、圧力値が赤色に点滅します。 接続アラートが有効になっている場合は、ペアリング済みのダイブコンピュータが振動し、警告音が鳴ります。

通信の途絶えたトランスミッターのアラートを作動する

ダイブコンピュータとペアリング済みであっても、トランスミッターが通信圏外になったり、ユーザーや他のダイバーの身体でトランスミッターの信号が遮断されたり、トランスミッターのバッテリーが切れたりしたときなど、トランスミッターとの通信が途絶えることがあります。ペアリング済みのダイブコンピュータと、トランスミッターの通信が 60 秒間途絶えた場合、アラートを作動してユーザーにお知らせすることができます。

1 Descent ダイブコンピュータを操作します。
MENU キーを長押しします。
2 **[ダイブ設定]**＞**[エアーインテグレーション]**＞**[接続アラート]**の順に選択します。

デバイス情報

Descent T1 Transmitter（トランスミッター）のバッテリーを交換する

⚠警告

本製品を安全にご使用いただくために、同梱の *クイックスタートマニュアル 安全および製品に関する警告と注意事項* に記載される内容を必ずお読みください。

注意

交換用バッテリーは、高品質なメーカーの製品を信頼できる販売店で購入してください。低品質のバッテリーを使用すると、デバイスの性能が低下したり、特に低温下でバッテリー寿命が短くなったりすることがあります。充電式バッテリーは使用しないでください。充電式バッテリーには、電圧が高い仕様のものがあり、デバイスの破損につながるおそれがあります。

バッテリーの交換には、硬貨またはマイナスドライバー、新しいリチウムバッテリー（3V CR123A）、防水用シリコングリスが必要です。また、バッテリーキャップや O リングが劣化している場合は、新しいものに交換する必要があります。

トランスミッターはリチウムバッテリー（3V CR123A）を使用しています。バッテリーは出荷時にあらかじめ

取り付けられています。トランスミッターの防水性能を維持するために、バッテリー交換の際は以下の手順に従ってください。

1 硬貨またはマイナスドライバーをバッテリーキャップのスロット①に挿入し、左に回します。



2 バッテリーキャップとバッテリーを取り外します。
3 トランスミッターに交換用バッテリーを挿入します。バッテリーの +(プラス)極をトランスミッターに向け、-(マイナス)極をバッテリーキャップに向けて挿入します。
4 2 つの O リング②を点検し、汚れや損傷がなく、溝に固定されていることを確認します。

O リングが摩耗または損傷しているようであれば、Descent T1 用 Cap and O-Ring キット(O リング、防水用シリコングリスを含む)を購入することができます。詳しくは、当社ウェブサイト(*Garmin.co.jp*)の製品ページをご参照ください。

5 両方の O リングに防水用シリコングリスを薄く塗ります。
6 バッテリーキャップを取り付けて、しっかりと締めます。

お取り扱い上の注意事項

注意

タンクの移動、運搬、位置の調節をしたりするときに、レギュレーターやトランスミッターを掴まないでください。

トランスミッターから安全用プラグを取り外さないでください。

デバイスを傷めるおそれがあるため、クリーニングの際に先のとがったものを使用しないでください。

化学洗剤や溶剤、防虫剤はデバイスのプラスチック部や塗装を傷めるおそれがあるため使用しないでください。

デバイスが塩素や海水に長時間さらされたり、日焼け止めクリーム、化粧品、アルコール、その他刺激の強い化学薬品が付着した場合は、真水で洗い流した後、柔らかい布で水分をしっかりと拭き取ってください。

強い衝撃を与えたり、乱暴な取り扱いをすると製品寿命を縮めるおそれがあります。

高温になるおそれがある場所でデバイスを長期間保管しないでください。デバイスの故障の原因となるおそれがあります。

破損したデバイスや、保管温度範囲外で保管されていたデバイスは使用しないでください。

トランスミッターの電池室に水が入った場合は使用を中止してください。たとえ少量の水でも、電気接点を腐食させるおそれがあります。

トランスミッターのクリーニング方法

1 ダイビングの後は、トランスミッターを真水ですすぎ、付着した塩、ごみなどの汚れを取り除いてください。
2 必要であれば、柔らかい布でトランスミッターをきれいに拭いてください。

仕様

Descent T1 Transmitter

バッテリータイプ	3 V CR123A リチウムバッテリー
バッテリー稼働時間	約 100 時間 *1
ねじ規格	7/16 インチ(20 UNF)
動作温度範囲	-20 ～ 60°C
動作温度範囲(水中)	0 ～ 40°C
保管温度範囲	-30 ～ 70°C
水上通信範囲(ANT ワイヤレス技術)	最大 10m
水中通信範囲(ソナー)	最大 10m
防水性能	11 ATM ダイビング EN13319 *2
定格圧力	300 bar (4351 psi)
点検間隔	使用前には必ず部品に損傷がないか点検してください。必要に応じて部品を交換してください。*3

*1 バッテリー稼働時間は、Garmin のテスト環境下での標準値です。実際のバッテリー稼働時間は、各種機能の利用状況やデバイスの使用環境により異なります。

*2 技術標準規格 EN13319 に準拠して試験されています。詳しくは、*Garmin.com/ja-JP/legal/waterrating-definitions/* をご参照ください。

*3 経年劣化による性能への影響はありません。(通常使用による摩耗を除く。)

デバイスに関するその他の情報

デバイスに関する最新・補足情報は、当社ウェブサイト(*Garmin.co.jp*)をご参照ください。

サポートセンター *support.Garmin.com/ja-JP/*

チュートリアルビデオ ***[e ラーニング]****Descent T1 Transmitter*

トラブルシューティング

Descent ダイブコンピュータを使用してトランスミッターのソフトウェアを更新する

ソフトウェアを更新する前に、トランスミッターを対応する Descent ダイブコンピュータとペアリングしてください。

1. 次のいずれかの方法で、ダイブコンピュータにソフトウェア更新データをダウンロードします。
   - Garmin Dive アプリでダイブコンピュータのデータを同期します。
   - チャージングケーブルでダイブコンピュータと PC を接続し、Garmin Express でデータを同期します。

   Garmin Dive アプリと Garmin Express は自動的にソフトウェア更新を検索します。Garmin Express を使用して同期すると、ダイブコンピュータはすぐに更新を適用します。Garmin Dive アプリを使用すると、更新を確認するメッセージが表示されます。
2. トランスミッターをレギュレーターのファーストステージに接続します。

   参照 *1 ページ　レギュレーターにトランスミッターを取り付ける*
3. タンクのバルブを除々に開き、レギュレーターのファーストステージを加圧します。

   トランスミッターが圧力を検知すると、低電力モードが解除されます。トランスミッターの低電力モードが解除されると、音が鳴ります。
4. Descent ダイブコンピュータを操作します。

   MENU キー長押しします。
5. **[ダイブ設定]** > **[エアーインテグレーション]** > **[トランスミッター]** の順に選択します。
6. 接続するトランスミッターを選択します。
7. トランスミッターとダイブコンピュータが接続するのを待ちます。

   ダイブコンピュータの画面に **[接続中]** と表示されます。
8. **[ソフトウェア更新]** を選択します。

   ヒント： ダイブコンピュータがトランスミッターのソフトウェアバージョンとバッテリーの状態を判断するため、このオプションが表示されるまでに、1 分程度かかる場合があります。
9. 画面に表示されるトランスミッター ID を確認します。

   ヒント： トランスミッター ID はハウジングに記載されています。
10. ソフトウェア更新が完了するまでは、ダイブコンピュータをトランスミッターの近くに置いてください。

トランスミッターと Descent ダイブコンピュータが水中で接続できません

水上では Descent ダイブコンピュータとトランスミッターは通信ができるのに、水中では通信が途絶えてしまう場合は、以下の手順をお試しください。

- トランスミッターの送信出力設定を変更します。

  参照 *8 ページ　送信出力設定を変更する*
- トランスミッターを延長高圧ホースに取り付けて、トランスミッターがダイブコンピュータと通信できるように、位置を調節します。

  参照 *2 ページ　トランスミッターを延長高圧ホースに取り付ける*
- トランスミッターの取り付け位置についての**ヒント**をお読みになり、ダイブコンピュータとトランスミッターの通信に最適な位置を決めます。

  参照 *1 ページ　トランスミッターの取り付け位置*

送信出力設定を変更する

注意： 送信出力の設定値を上げると、トランスミッターが発する音量が大きくなり、バッテリーの消耗が早くなります。

1. Descent ダイブコンピュータを操作します。

   MENU キーを長押しします。
2. **[ダイブ設定]** > **[エアーインテグレーション]** > **[トランスミッター]** の順に選択します。
3. ペアリング済みのトランスミッターを選択します。
4. **[送信出力設定]** を選択します。
5. トランスミッター ID を入力します。

   ヒント： トランスミッター ID はハウジングに記載されています。
6. オプションを選択します。

トランスミッターのバッテリー消耗が早い

トランスミッターのバッテリーが稼働時間（*7 ページ　仕様*）よりも早く消耗する場合、ダイビング後にトランスミッターが低電力モードになっているかどうか確認してください。

1. ダイビングを終了して水面に上がった後、レギュレーターを減圧します。
2. レギュレーターに取り付けているトランスミッターは、減圧してから 2 分経過すると低電力モードになります。

商標について

本操作マニュアルの内容の一部または全部を当社の承諾なしに転載または複製することはできません。

本操作マニュアルの内容ならびに製品の仕様は、予告なく変更される場合があります。

製品に関する最新・補足情報については、*Garmin.co.jp* にアクセスしてください。

Garmin, Garmin ロゴ , ANT は、米国またはその他の国における Garmin 社の登録商標です。

Descent, Garmin Dive, Garmin Express, Subwave は Garmin 社の商標です。Garmin 社の許可を得ずに使用することはできません。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。



October 2020
190-02584-2D_0A